

ガス衣類乾燥機について

(社)日本ガス協会
(社)日本ガス石油機器工業会

ガス機器のリサイクルの実態

大手ガス事業者では独自の使用済ガス機器の回収・再資源化システムが運用されており、金属回収業者への引渡し等によりリサイクルが行われている。

図1 ガス機器のリサイクルフローの例（東京ガス）

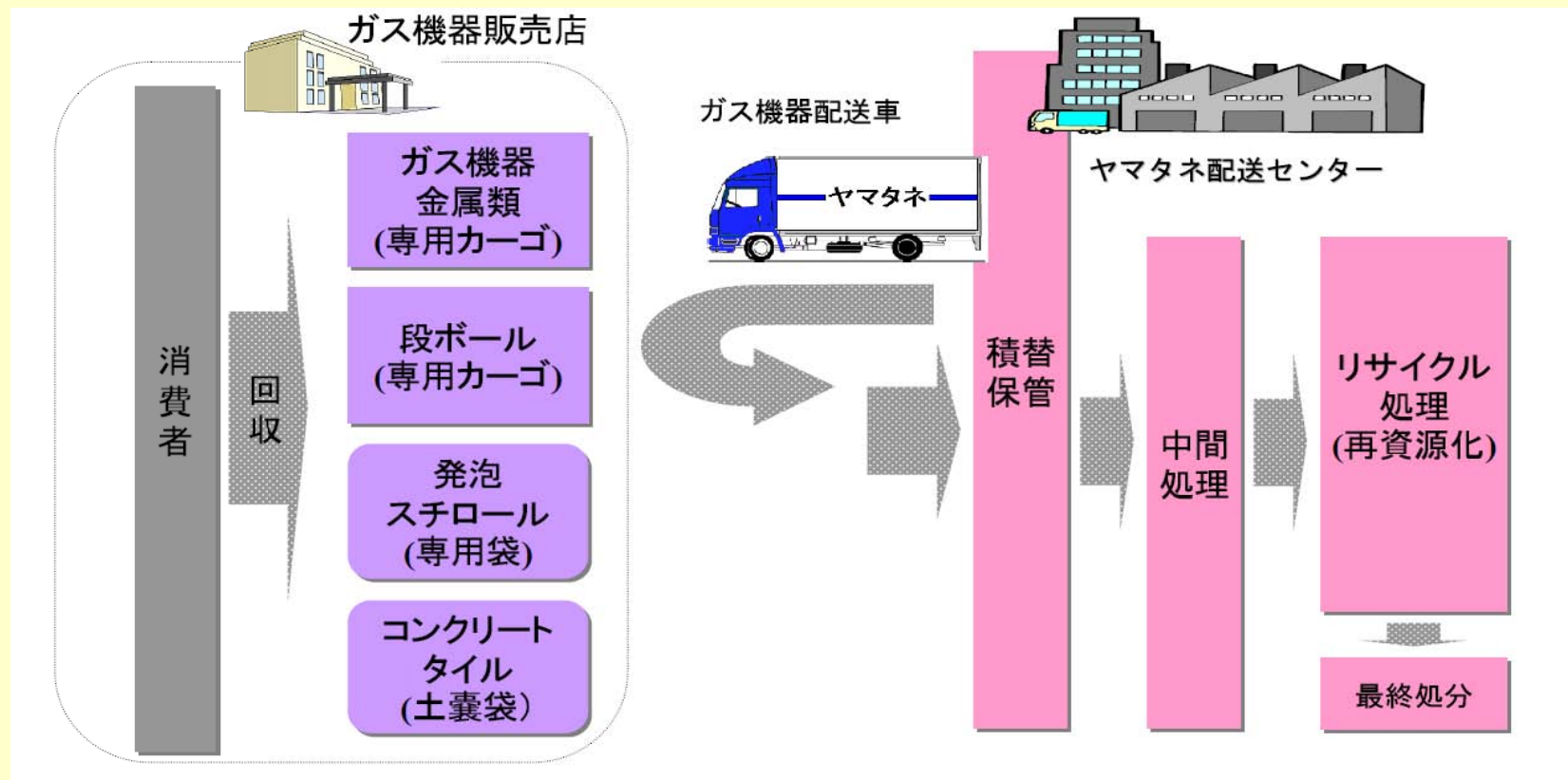


図2 ガス機器のリサイクルフローの例（東京ガス）

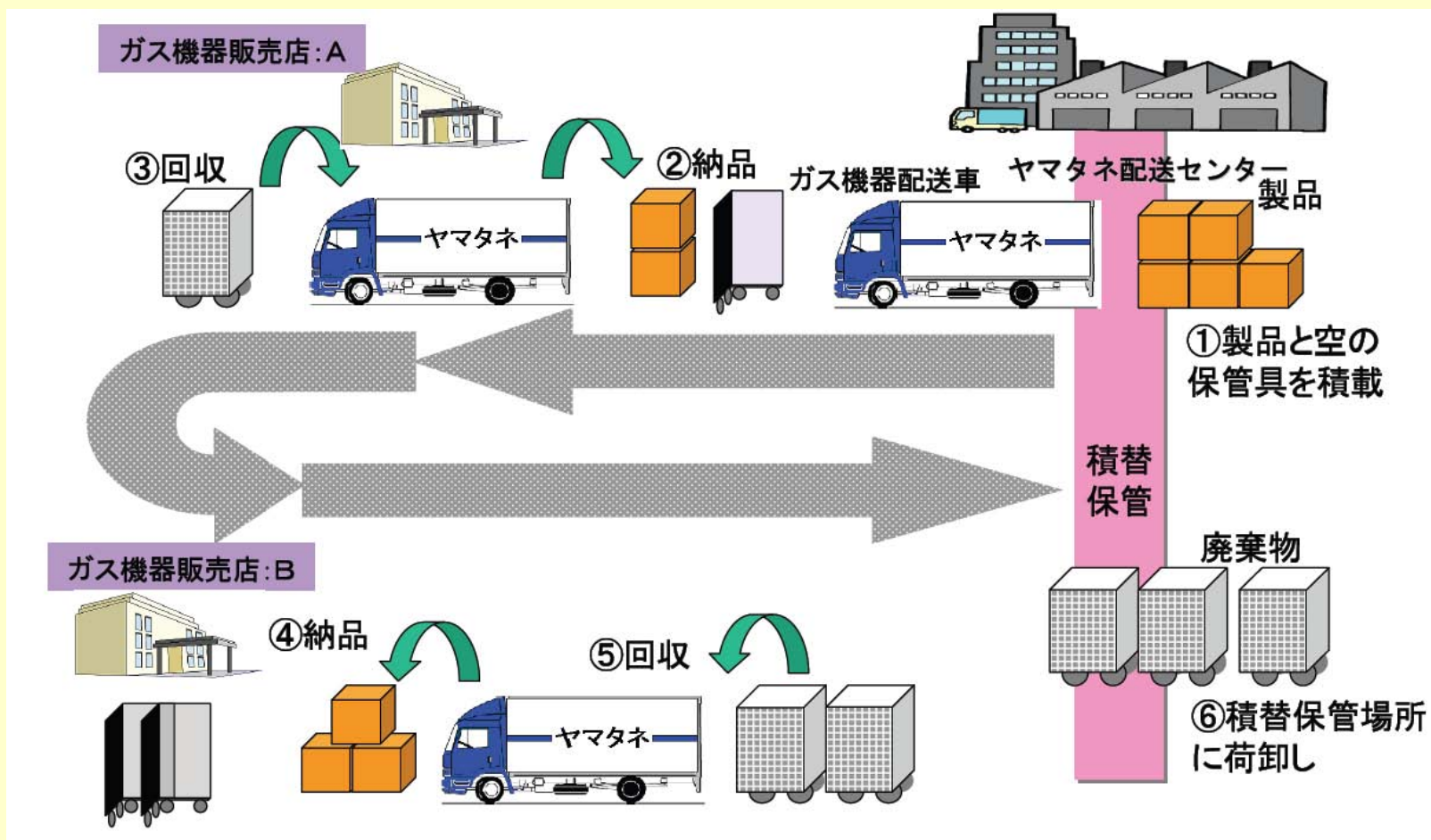


図3 ガス機器のリサイクルフローの例（東京ガス）
 (情報システムフロー)

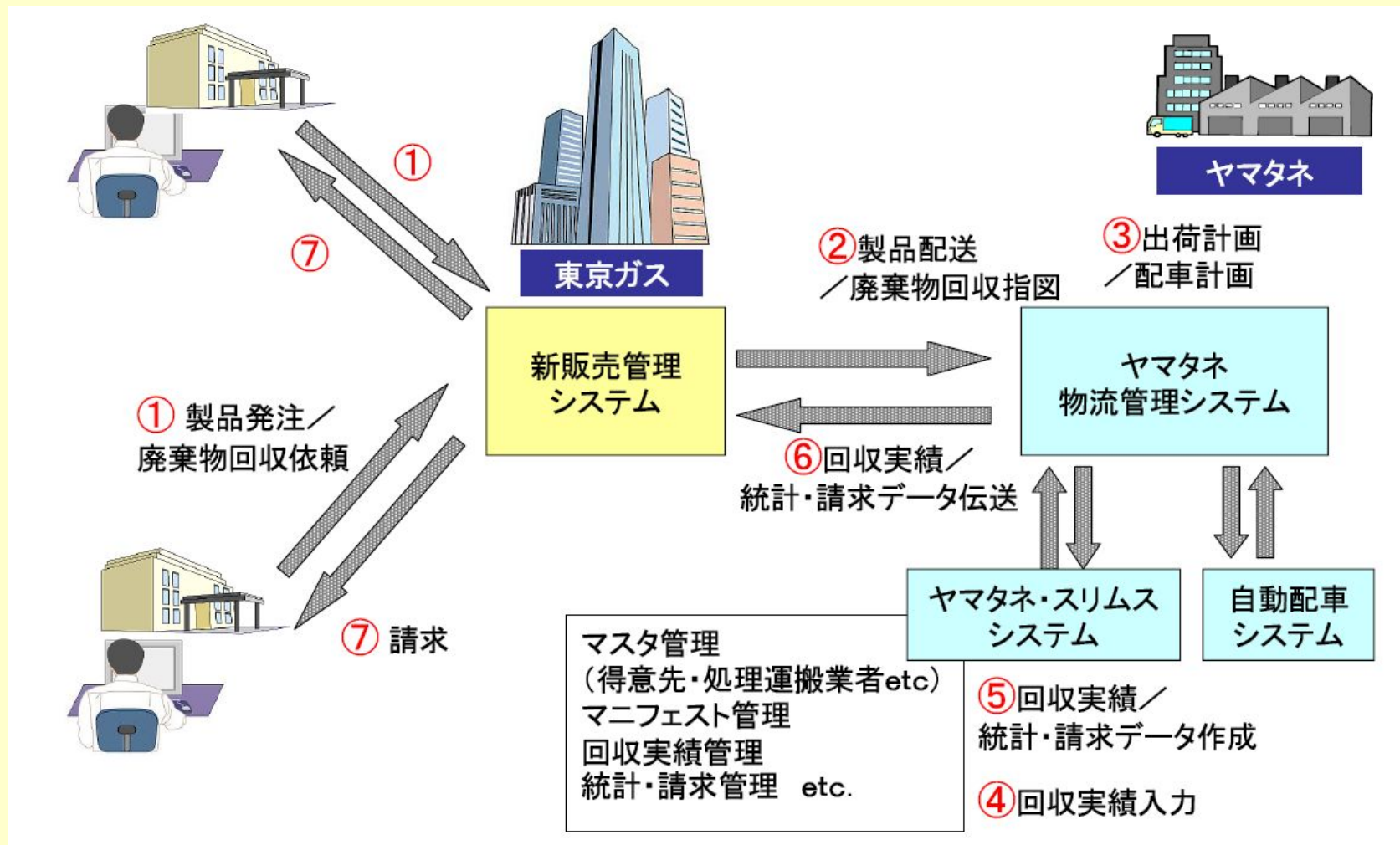
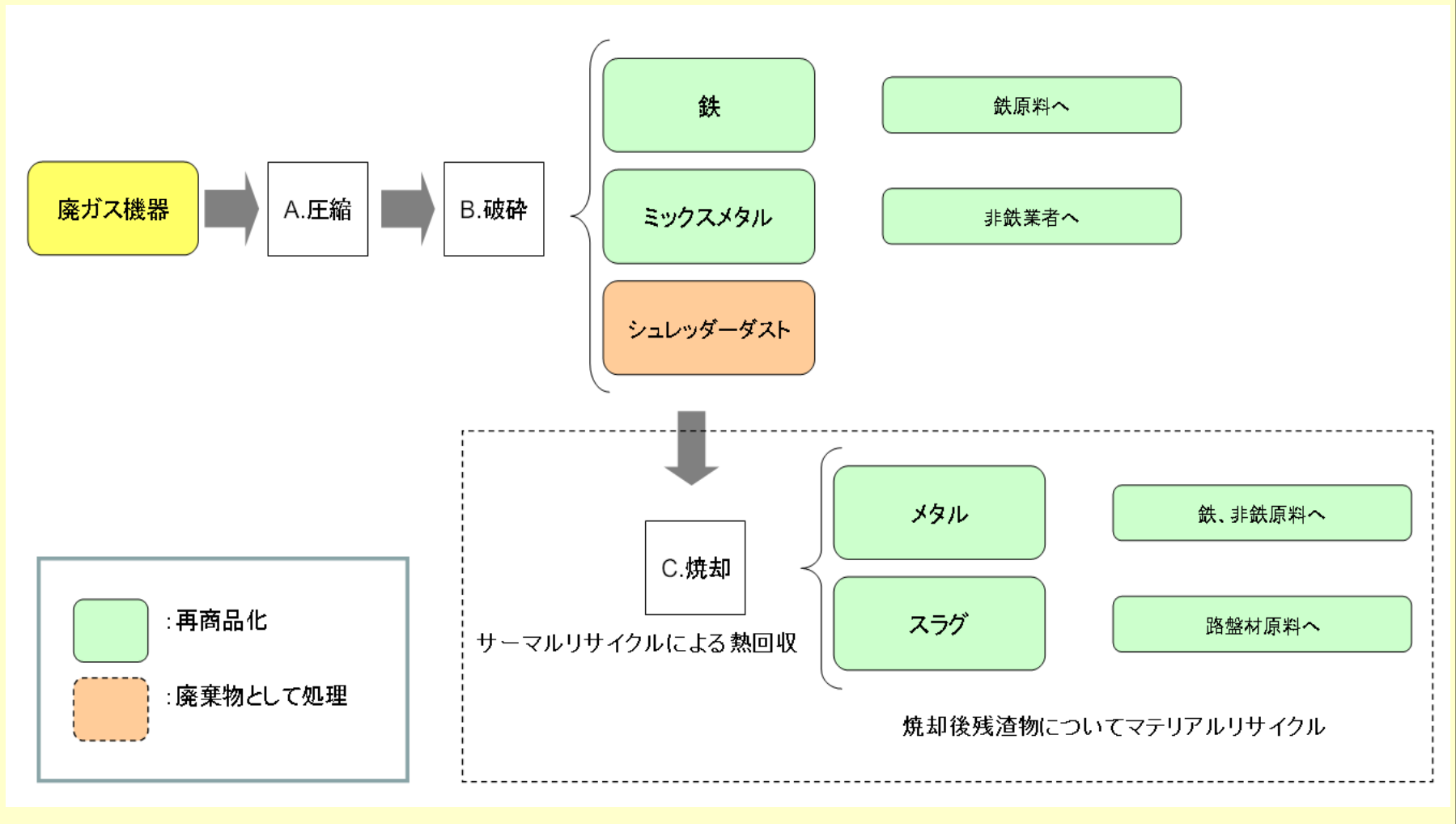
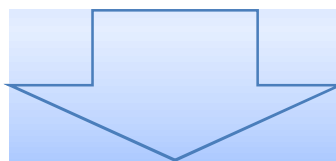


図4 ガス機器のリサイクルフローの例（東京ガス）
（イメージ）



対象となるガス衣類乾燥機の範囲に係る論点

- ・ガス機器は、そのほとんどが業界による自主的な対応で回収・リサイクルが行われており、一部は自治体へも排出されることもある。
- ・洗濯乾燥機の更なる普及に伴い、洗濯機と乾燥機が同時に排出されるチャンスは増大するので、消費者の便益性を勘案すれば、ガス衣類乾燥機も洗濯機排出時に同時に回収できることが望ましい。



課題

リサイクル料金ご負担のお願い(消費者の皆様へ)

現状 ガス事業者が自主的に回収する際には、回収費用は発生していない。また、自治体への排出の場合には粗大ごみ料金をご負担頂いております。

今までの回収フローとは別の回収フローとなりますので、リサイクル料金(場合によっては、収集運搬料金)をご負担頂くこととなりますのでご理解を賜りたい。

回収の協力のお願い(家電販売店の皆様へ)

消費者からご依頼があった場合には、ガス衣類乾燥機も回収・リサイクル拠点への運搬のご協力をお願い致します。